

「この子らを世の光に」啓発運動趣意書

鉛筆・替え芯・消しゴム・シャープペンシル・蛍コートペン
販売ご協力のお願い

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、奈良県手をつなぐ育成会の活動に一方ならぬお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。

奈良県手をつなぐ育成会は、知的に障害がある人を支えるために昭和39年に発足しました。現在奈良県内、約1,200名の会員で構成し、奈良県における知的障害者・児の福祉の充実に活動しています。

奈良県には、知的な障害のある人が約20,000名在住していると推計されています。平成18年4月、障害者自立支援法が施行されました。この法のもと、知的障害者・児の社会自立がより促進されることを願ってやみません。自分でものを考え、意志を伝えることが不得意な事が障害であり、そのため親や関係者が障害者本人と共に、医療・教育・就労など知的障害者福祉の充実に活動をつづけてきました。

平成20年度には、

- 知的障害者・児福祉への啓発
- 療育・学校教育と家庭教育との連携
- 生涯学習の場の確保
- 福祉作業所・小規模通所授産施設・通所授産施設などの就労移行への支援
- 企業就労者への支援
- 知的障害者の自立支援と余暇活動の支援
- 知的障害者の所得保障・生活支援
- 社会福祉法人奈良県手をつなぐ育成会知的障害者、入所更生施設「やすらぎの丘」・通所授産施設「たかとりワークス」との連携による地域生活支援の充実
- 知的障害者・児の権利擁護

の活動方針にもとづき、「知的に障害がある人とは、特別な人ではなく、知的な遅れがあるため、コミュニケーションをとることが困難で社会生活への適応がしにくい人」との考えのもと、障害者・児のライフサイクルに合った支援を考えています。

奈良県手をつなぐ育成会は、会発足以来40年余り、知的障害者・児の充実したライフサイクルを目指し「この子らを世の光に」の啓発運動を続けてまいりました。知的に障害がある人の教育の場・働く場に関しては、福祉政策の向上とともに緩やかではありますが前進しています。しかし、生活の場に関しては障害者本人の高齢化、保護者の高齢化など大きな課題をかかえています。

「この子らを世の光に」の啓発運動の一環として取り組んでいますこの事業を今年度も実施したいと思えます。

この事業の啓発費は、知的障害者本人たちの生活自立と、養護学校卒業後の働く場づくりのための資金として活用させていただきます。

公務ことのほかご多忙の折り誠に恐縮でございますが、本会の運動をご理解いただきこの事業推進のためにご協力賜りますようお願い申し上げます。